

令和5年度第2回富田林市入札等監視委員会議事録（会議の概要）

- 1 開催日時 令和5年8月29日（火）午前9時5分～午前9時45分
- 2 開催場所 市役所2階 201会議室
- 3 出席者 委員3名、工事担当課4人、事務局4人
- 4 開催形態 公開（傍聴人 人）・**非公開**・一部公開（傍聴人 人）

【非公開・一部公開の理由】

会議の公開に関する指針3.（3）該当

- 5 審議の経過及び委員会等の結果等 全文筆記・**要点筆記**・議事要旨
次第

（1）入札及び契約手続きの運用状況等について（令和4年4月～6月）

① 工事の発注状況について（報告）

（2）発注工事（抽出事案）に対する説明及び審議

- ① 「新堂小学校プール循環浄化装置緊急改修工事」
- ② 「喜志中学校プール循環浄化装置緊急改修工事」
- ③ 「金剛中学校⑩棟屋上防水改修工事」
- ④ 「葛城中学校⑦棟屋上防水改修工事」
- ⑤ 「(R5・6) 緊急掘削に伴う道路舗装復旧工事(年間単価契約)」

【委員】 ①と②の案件ですが、同じ業者が緊急突発でしておられますが、同じ業者になった事情は何かあるのでしょうか。

【事務局】 プール授業の開始前に小・中学校プールろ過装置保守点検業務を10者程度指名して入札しておりまして、その結果当該業者が落札しております。その業務の中でこの状況が判明し、どの業者が一番適しているかということで、担当課と契約担当課で協議をし、状況を把握されている設備のメンテ会社を選定したものです。

【委員】 分かりました。

【委員】 ⑤の案件ですが、選定方式が随意契約となっておりますが、入札はされていないのですか。

【事務局】 入札ではなく、一般見積を行っています。業者から見積もりを徴収し、一番安い業者と契約しております。

【委員】 75者も業者選定しているのは、こういった事情なのですか。

【事務局】 工事場所については、市内全域を対象としており、選定する業者を絞ることが難しいことから、対象ランクの業者を全て選定しています。

【委員】 これは、何か事故があれば発注するというものなのですか。

【事務局】 はい。極端に言えば、何事もなければ発注は生じません。

【委員】 例年発注はあるものなのですか。

【担当課】 必ずあります。発生頻度を平均して設計価格を算出していますので、だいたいこのくらいの発注はあります。

【委員】 わかりました。

【事務局】 単価は㎡あたりで、そこに頻度補正を掛けて算出されています。

【委員】 単価で決めるといいながら、入札金額739万という金額が出ているというのがちょっとよく分からないのですが。

【事務局】 資料の中に、各業者の見積りの内訳がありますとおり、市が契約したい項目に対して、過去の実績を基に算出した頻度補正を掛けて、総額を算出しております。

【委員】 この値段で契約して、実際の工事がこれよりも多くても少なくても儲けはないという契約なのですか。

【事務局】 頻度はあくまでも実績なので、保証されたものではありません。まったく頻度補正をせず、単価だけで積算し、発注すると、あまり発注がない項目を極端に安くした場合に逆転してしまう場合があるので、頻度補正が必要です。

【委員】 実際にそれだけの突発工事が起きない場合もあるし、たくさん起こる場合もあるのですか。

【事務局】 はい、過去数年間の実績で頻度補正をしており、契約は単価なので、発注があった場合はその発注に応じて㎡単価を支払います。

【委員】 毎年同じような契約をされているのですか。

【事務局】 はい。

【委員】 契約相手方はいつも同じ業者ですか。

【事務局】 いいえ、毎年異なる業者が落札しています。

【委員】 業者からすると賭けのような部分がありますね。安く見積もって、発注が少なければラッキーだし、多かったら損をする。毎年安い金額で入札して複数年受注したら儲かるかということ、そうでもない。

【事務局】 あくまでも実績と単価でしかないので、たまたま大きな復旧が発注されるかもしれませんが、そのあたりは分かりません。各業者の判断ということになります。

【委員】 それぞれの項目で値段に差があると思いますが、それぞれに頻度補正を掛けて総合

計で競争して一番安い業者を決めるということですか。

【事務局】 はい。

【委員】 たまたまその業者が高い金額で見積りした項目の発注があれば、高く払わなければならない。市側も賭けのような部分がありますね。

【事務局】 結果的にそうです。ただ、頻度補正を無くすと現実との差が大きくなりますので、実際の金額になるべく近い形になるように補正させていただいております。

【委員】 おそらく過去の実績は単純に平均で出したりしていると思いますが、将来のことは全然わかりませんし、何かあったときにその数字に説得力があればいいと思います。

【委員】 他の半額とまではいきませんが、落札者だけ極端に安い金額ですね。何か理由はご存じですか。毎回このような感じですか。

【担当課】 材料の高騰などが影響して、仕入れの部分に差があるのかなと思います。

【委員】 毎年落札業者が変わっているということでしたが、安い2者が相談して入札しているという疑いはありませんか。

【事務局】 それはないと思います。選定した業者は舗装の許可を持っている業者ですが、この2者は舗装をメインでしておられて、自社施工ですので、そこに差があると思います。

【委員】 ③と④の案件で、抽選の結果として同じ業者が落札されていますが、これは偶然としか言いようがないのですか。

【事務局】 これは抽選の結果です。

【委員】 具体的に抽選の方法とはどのようなものですか。

【事務局】 電子入札で金額を入れていただくとともに、3桁のくじ用の数値を入力してもらいます。それに応札の札が送信されてサーバーに到達した時間のうち、秒の数字を足してくじ値を出します。くじ対象の業者のくじ値を合計し、業者数で割って余りを出し、業者数からその余りを引いた数字と入札順が一致する業者が落札となります。つまり、人為的な操作は何もできません。

【委員】 わかりました。

【委員】 ①と②の案件の工事期間は過ぎていますが、プール授業開始には間に合ったのですか。

【担当課】 間に合っております。

【委員】 保守点検業務の契約をしているということでしたが、その結果はこの一覧にはないのですか。

【事務局】 こちらは工事の一覧表であり、保守点検業務については役務ですので載せておりま

せん。

【委員】 保守点検業務は随意契約ですか。

【事務局】 指名競争入札をしております。工事に関連する業務を担当する係と、それ以外の業務を担当する係がございまして、前者は電子入札をしていますが、後者は導入しておらず、紙による指名競争入札をしております。

【委員】 電子入札の審査は手作業なのですか。

【事務局】 自動で審査はできるのですが、イレギュラーな事象が生じる可能性もあるので、最終的には人間がチェックする体制としております。

○ 開催日程等について

(1) 次回の開催日時について

(2) 議事録の署名委員と抽出委員の指名について